第二十四回本郷ふじやまやま公園古民家歴史部会歴史散策(東海道)

第二十四回の行程は長距離で、しかも車の往来激しく、加えて特に見るべきものも少なく、割愛する。但し、記録のみ作成し今後の参考に供する。

行程；1お軽寛平戸塚山中の場の碑→2原宿一里塚→3浅間神社→4大運寺→5古碑群→6馬頭観音

一口メモ

「VI」藤沢宿へ

1・お軽寛平戸塚山中の場の碑

バス停西横浜国際病院前の堂に碑がある。この辺り「女殺し」といわれ、昭和初期東海道整備の時崖部から大量の人骨がでたという。

2・原宿一里塚

日本橋から11番目・現地図上、約46km。案内板あり、塚のあった家は「一里山」の屋号を持っている。この辺り茶店などあり、原宿と呼ばれるようになったという。

3・浅間神社

深谷町からの道と交差する付近。木花佐久耶姫を祀る、富士山信仰を元に村内の安全を祈願し永禄年中(58~69)勧請数回にわたり再建、境内に富士山信仰碑・庚申塔などが建つ。

4・大運寺

浄土宗・寺宝一心経一卷、雷獣肉附地藏絵。

5・古碑群

原宿交差点先右側に天王山不動尊智證大師靈作とあり、天王山龍長院の前立不動である。

6・馬頭観音

影取交差点手前左側に明治期に造立、馬が線刻されている。

影取町には昔、遊行寺近くの森家で飼っていた大蛇が大食いで困り、言い聞かせて池に捨てた、大蛇は水に写る旅人の影を捕らえ米や酒を取っていた。村人は退治しようとしたが失敗した、森家で「おはん」と呼ばれていたことを知り、「おはんさん」と呼んだところ迎えが来たと思いを現した大蛇を鉄砲で撃ち殺した。この池が影取池で町名になった。又此の鉄砲打ちの居たところを、鉄砲宿と呼ぶようになった。

7・諏訪神社

信濃国一宮諏訪神社(諏訪湖畔)を総社とする、祭神建御名方命・八坂刀売命諏訪大明神を祀る。諏訪信仰は全国に広まり約5000の末社がある。総社から薙鎌に神霊を移し各社はこれを身体としている。神社の裏手に影取池(6項前出の池)があった。

第一丁四四行住来門口

深谷町

原宿町

東俣野町

影取町

関谷